

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和2年5月7日

事業名称	校務ネットワーク管理・運営事業費【校務ネットワーク管理・運営事業】								
予算科目	款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 2 事務局費 事業番号 3								
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	教育総務 課 廉務 係				課長名	斎藤 謙二郎			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 1		
【施策名】学校教育の充実						総合計画書 (ページ)	31		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内小・中学校教員及び教育総務課並びに教育指導課職員			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内小・中学校教員及び教育総務課並びに教育指導課職員					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 購入当初の目的であった、データの一元管理、ファイルの共有化、セキュリティ高度化を維持する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 校務パソコン台数					
	③ そのために何をしましたか。 シンクライアントシステムの導入(庁舎内にあるサーバで情報を一括管理し、校務パソコンにはデータが残らないようにする。)			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 平成27年9月から全校に導入					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	台	400	400	400			
	成果指標	②の数値	%	100	100	100			
	目標	②の目標値	%	100	100	100			
目標値設定の考え方 児童・生徒の保護者及び教育関係機関等への配布数。									
活動指標	③の数値	台	400	400	100				
経費	事業費(実績)		円	46,375,459	44,954,892	45,081,517	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	一般財源		円	46,375,459	44,954,892	45,081,517			
	特定財源		円	0	0	0			
	(うち受益者負担)		円	0	0	0			
	人件費 (自安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2			
	職員人件費(再任用)	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
	職員人件費(再任用)	事業費+人件費	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000			
4環境変化等	(1) 開始年度 平成27年度 (2) 環境の変化 個人情報を含む校務データの一元管理と運用の効率化、教職員間や学校でのファイルの共有化、情報セキュリティの高度化を図るために導入した。 教職員等の雇用人数が増えているため、全教職員へパソコンを配置できていない状況が継続している。								

事業名称	校務ネットワーク管理・運営事業費【校務ネットワーク管理・運営事業】				
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市 民 等 の 意 見	<p>この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について パソコン台数の不足や、ICT環境の充実及び整備等について多数の意見が寄せられている。</p>								
6 市 民 協 働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">□ 取り組んだ</td> <td>取組手法：</td> </tr> <tr> <td>☑ 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table>					□ 取り組んだ	取組手法：	☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	□ 取り組んだ	取組手法：							
	☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
<p>(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。</p>									
7 課 題	<p>(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記） 機器類等の交換はできるが、突発的な障害が生じた場合、保守業者が自社から来庁し対応しているため、復旧までに時間を見る。</p>								
	<p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 平成31年度は特に突発的な障害等の発生はなかった。時間を要する修理等に関しては、速やかに代替機を持込み、対応をした。また、パソコン台数の不足については、令和2年度に新たな賃貸借契約をする仕様で台数増を検討した。さらに、教職員等の負担が生じないように新たに統合型校務支援システムの導入を検討した。</p>								
	<p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き、短期的・長期的な課題の解決へ向け、教職員の事務改善につながるような支援を行う。</p>								
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）								
<p>施策名：学校教育の充実</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>なっている <input type="checkbox"/>環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/>類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）</p>									
9 今 後 の 方 向 性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input checked="" type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>廃止</p>								
	<p>【取組内容】 令和2年度より、パソコン台数を増設するとともに、統合型校務支援システムを導入をする。 特に、統合型校務支援システムの導入により、時間外勤務の縮減等が見込まれるため、教職員の働き方改革につながる。また、校務の効率化により事務作業の時間の削減されるため、児童・生徒と直接関わる時間の創出につながる。</p>								
	<p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 パソコンを交換する際のスケジュール等を計画し、移行作業を実施する。 また、統合型校務支援システムについては、正式運用する前に東大和市教育委員会としてのカスタマイズや教職員への操作研修等を実施し、システムを各学校へスマーズに導入し活用へ向けた準備ができるようにする。</p>								